

いちやいばネットワーク通信

～ 中小企業の生きる道 ～

大きい会社に勝つための「スピード力」はこう上げる！



「スピード力」とは、①発想力 ②タイミング ③修正力

スピード力には、意思決定のスピードと取り組みまでのスピードがあります。意思決定は単なる「思いつき」とは違います。考えついてから行動に移すまでのスピードが重要なのです。

スピード力が高いと、何かに取り組んで失敗してもダメージを少なくできます。それは修正や撤退の意思決定にも素早く対応できるということを意味します。「ダメ」になる兆しをいち早く見出して修正をかけていれば、大ケガをすることもありません。

「じっくり考える」ことも重要ですが、気をつけないと「考える」ことが目的になってしまい「新たな取り組みをする」という本来の目的も失われてしまいかねません。



資本力が3分の1でも、3倍のスピードがあれば戦える。

小さな店が大きな店と戦っていくためにもっとも必要なものはスピードです。舞の海という力士の特徴は、過去にほとんど使われなかったような「決まり手」が多かったことです。過去に経験した技だと相手は対処することが可能なため、スピードには「発想力」が求められます。また、仕掛ける「タイミング」も大事で、相手のスキを狙わなければ逆にやられます。

さらに「修正力」も必要です。完璧に技が掛かることはめったにありません。体勢が悪ければ臨機応変に対応しなければなりません。これは会社経営も同じです。



「確実にやる」より「どこよりも早くやる」

「どのような結果になるか分からないがとにかくやってみよう」

「それでやってみて不具合があれば修正しよう」

「朝令暮改」は今まで悪い意味で使われていましたが、変化の激しい昨今においては、過去の施策が悪いと思えば**すぐに軌道修正する臨機応変さ**が今の経営には求められています。

